

I C Tを活用した授業づくり～学習効果を高める授業の工夫～

1. 指導学年 小学校 2 学年
2. 指導教科 国語
3. 単元 「お手紙」
4. 学習目標 (ねらい)
  - ・ 登場人物の行動を中心に、気持ちを想像しながら読むことができる。
5. 評価規準
  - ・ 二つの場面を比べ、二人の気持ちの変化が分かる言葉を見つけて説明している。
6. I C T活用の目的, 期待される I T C活用の学習効果
  - ① 二つの場面の挿絵を掲示し、同じ挿絵をワークシートに活用することで、クラス全体で共通のイメージを持って話し合うことができる。
7. I C T活用コンテンツ・機器
  - ・ 東京書籍デジタル教科書    ・ コンピュータ    ・ テレビモニタ (50 インチ)

8. 指導過程

	学 習 活 動	指導上の留意点 (評価)
導 入	1 第一場面と第四場面の二枚の挿絵を比べ、気づいたことを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 挿絵は、「My 教科書エディタ」に収められている物を活用する。</li> <li>・ 二人の表情や座り方に着目させる。</li> <li>・ 第一場面と第四場面の学習で書いた二人の吹き出しを比べ、悲しい気持ちから幸せな気持ちに変化していたことを振り返らせる。</li> </ul>
展 開	2 第一場面と第四場面の二人の気持ちの変化を、教材文を根拠に考える。 3 二人の気持ちが幸せになったわけを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ワークシートは、「My 教科書エディタ」に収められているものを活用する。</li> <li>・ 二つの場面を音読しながら比べさせ、変化が分かる言葉を見つけさせる。</li> <li>・ 二人が幸せな気持ちになったのはなぜかを書かせ、話し合わせる。 (二つの場面のがまくんとかえるくんの気持ちの変化を読み取っている。【発言, ワークシート】)</li> </ul>
終 結	4 本時の学習のまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ まとめを音読をし、読み取ったことを振り返らせる。</li> </ul>

9. 成果と課題

二つの場面の二人の挿絵の表情を比べることで気持ちの変化を押さえることができるが、教科書と板書とワークシートの挿絵をそろえることで、挿絵部分にあたる教材文を根拠に話し合うことができた。しかし、デジタル黒板ではなかったため、根拠となる文章にラインを引くのは教師がマウスを使って補助した。



